

薬剤部だより No.244

山口大学病院薬剤部 2010.5.18



手術部の薬品カート交換方式を廃止し、常駐薬剤師が管理

昨年11月から手術部に薬剤師が半日常駐するようになったため、業務の効率化とさらなる適正使用を目的とし、5月からカート交換方式を廃止し、常駐薬剤師による手術室内での薬品管理へと変更になりました。

外来待合室番号表示灯設置完了

4月29日に外来待合室の番号表示灯が設置されました。5月11日から使用しています。



治験の実施率向上にご協力を

平成21年度に当院が契約した新薬の治験件数のうち、実際に実施された件数の割合(治験実施率)は42.9%でした。当院は治験拠点医療機関に選ばれており、拠点医療機関に求められる目標の80%を大きく下回っています。治験を担当されています先生方には、積極的な被験者エントリー等、実施率向上にご協力をよろしくお願いします。

長期実務実習が始まりました

5月17日(月)から7月30日(金)まで、薬学部5年生を対象とした長期実務実習(男性2名、女性1名)を行っています。薬学部が6年制になって初めての実習生となります。医療の担い手として社会に貢献できる薬剤師を目指して頑張っています。服薬指導等で病棟を訪れる機会もありますので、その節はよろしくお願いします。

注射剤配合変化記録用紙をご活用下さい

配合変化により使用不可になった場合は、現物といっしょに注射剤配合変化記録用紙(右図)に記入し、薬剤部DIセンターへ送ってください。薬剤部利用の手引きにも記載されていますので、ご参照下さい。様式が必要な場合は、DIセンター(TEL:2668)まで。

病棟	科別室	平成	年	月	日	午前	午後	時
処方内容	数量	割合	1. 不溶物析出	2. 濃度				
1.			()	2. 30分後				
2.			2. 変色	3. 1時間後				
3.			()	4. 1時間30分後				
4.			3. その他	5. 2時間以上				
5.			()	6. 不明				
6.				該当する番号に○をして下さい。				

【薬剤師からのコメント】

医薬品返却の際は返却理由を明記してください

医薬品の返却を安全に行うために、返却の際はその理由(退院のため、重複したため等)を明記して下さい(注射薬の場合は返品伝票を添えて返却)。

また、特定生物由来製品は、患者への使用記録を20年間保管しなくてはなりません。正確なLot管理を行うために、患者氏名・ID・施行予定日が判るようにして返却して下さい。

ボックスコンベアによる処方箋搬送時の注意

病棟から出力された処方箋(正)をボックスコンベアで薬剤部に搬送される際は、クリアファイル等を利用して下さい。処方箋を直接セロテープで固定されますと、ボックスから処方箋を取り出す際に処方箋が破損しやすくなり、対応に苦慮しています。

名称変更のお知らせ

以下のように薬剤名が変更されたことに伴い、オーダ上の名称も同様に変更しました。メテナリンに関しては、在庫がなくなり次第変更します。

- (旧)「マイクロシードPVP」 (新)「ポビドンヨードスクラブ液」
- (旧)「オーグメンチン錠」 (新)「オーグメンチン配合錠250RS」
- (旧)「メテナリン注0.2」 (新)「メチルエルゴメトリン注0.2mg」